職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 大原簿記専門学校	交神戸校	平成13年3月	128日	佐邦	薬 顕	(住所)	651-0065 兵庫県神戸市中央区バ	(幡通4-2-5			
設置者名		設立認可年	月日	代表	長者名		078 — 222 – 8607	所在地			
学校法人大原	学園	昭和54年4	月1日	中本	: 毎彦		101-0065 東京都千代田区西神田	3一丁月1番3号			
						(電話) (03-3292-6266		佐	哈娄宁 碑 =	明钿铅韧壳左
分野 商業実務		認定課程名 実務専門課程	FE.	認定学科: 療ビジネス			計量 15(2003)年度	高度専門士認定	年度		<u> 門課程認定年 </u> 8(2016)年度
同未入切	10134	关切寺门 脉往		三派に ノインへ	7-14	1 1%	10(2000)平)及			1 19,2	.0(2010)干及
学科の目的	教育基本活動とする	去及び学校教育法に 	基づき、医療	を機関と連携 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	し、実習を通し	こて医療請求	事務に関する高度な知識	機技術を習得し、医療	泰事務職に	必要な資格を	を取得することを目
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	【主な取得 【中退率】9	0.5%			科)、医療請求	求事務検定1	級、調剤薬局事務検定				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必	要な総授業B 単位数	時数又は総	講	義	演習	実習	実駅	験	実技
2	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	1,700) 単位時間	2,549	単位時間	2,460 単位時間	780 単位時間		単位時間	0 単位時間
生徒総定員		 €員(A) 留学:	生数(生徒実員)	単位 の内数)(B)	留学生割	単位 合(B/A)	——— ^{単位} —————————————————————————————————	単位		単位	単位
40 人	14	Α	0)人	0	1 %	9 %				
40 人	■卒業者		:	13		, , ,	3 N				
	■就職希	望者数(D)	:	12		Ž.					
	■就職者 ■地元就	致(E) 職者数(F)	:	12 8							
	■就職率			100		%					
	■泦職者	に占める地元就職者	iの割合 (F/I	E) 67		%					
	■卒業者	こ占める就職者の割	合 (E/C)								
±1, m45 & +	■進学者	数		92 0		人					
就職等の状況	■その他										
	 アルバイ										
	(令和		者に関する令	合和7年5月	1 日時点の情報	報)					
	■土な駅 (令和6年度	職先、業界等									
		· + * - /							2 医療法人	나미 바스 호	: 塚病院
	医療法人	徳洲会 高砂西部	病院、医療》	法人甲風会	有馬温泉病	病院、(財)神戸	マリナース厚生会 ホ	ートアイフント病院	八四次四八		>>,
	■民間の	評価機関等から第	三者評価:	法人甲風会	有馬温泉症	病院、(財)神戸	キマリナース厚生会 ホ	一トアイフント病院 	, E3,(A)	<u> </u>	E-30/F3100
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について	三者評価:	法人甲風会		病院、(財神戸	無			VELX 3	L-347F3190
	■民間の ※有の場合	評価機関等から第	三者評価:	法人甲風会	有馬温泉 和 受審年月:	病院、㈱神戸	無 評価統	ート アイフント病院 吉果を掲載した ムページURL			
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体:	三者評価: 任意記載			新院、㈱神戸	無 評価統	吉果を掲載した		VELK 3	
学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について	三者評価: 任意記載			病院、 (財)神戸	無 評価統	吉果を掲載した		(DIX I	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac.jp/se	三者評価: 任意記載			病院、	無 評価統	吉果を掲載した			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定)	三者評価: 任意記載			病院、(財神戸	無 評価統	吉果を掲載した			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数	三者評価: 任意記載 enmon/scho	ool/kobe/	受審年月:		無 評価統	吉果を掲載した	1, 700 1	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 ・、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価: 任意記載 enmon/schoo	ol/kobe/ た実験・実習	受審年月: 習・実技の授		無 評価統	吉果を掲載した	1, 700 <u>1</u> 510 <u>1</u>	単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 enmon/schoo	ol/kobe/ た実験・実習	受審年月: 習・実技の授		無 評価統	吉果を掲載した	1, 700 <u>1</u> 510 <u>1</u> 60 <u>1</u>	単位時間単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 enmon/school と等と連携し と等と連携し 手授業時数	iol/kobe/ た実験・実習 た演習の授業	受審年月: 習・実技の授払 業時数	業時数	無評価系示し	吉果を掲載した	1, 700 <u>1</u> 510 <u>1</u> 60 <u>1</u>	単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 enmon/scho	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した	受審年月: 習・実技の授ま 業時数 - 必修の実験・	業時数・実習・実技	無評価系示し	吉果を掲載した	1, 700 <u>1</u> 510 <u>1</u> 60 <u>1</u> 660 <u>1</u>	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し 深等と連携し 記授業時数 うち企業等 うち企業等	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授ま 業時数 必修の実験・ 必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数	無評価系示し	吉果を掲載した	1, 700 <u>1</u> 510 <u>1</u> 60 <u>1</u> 120 <u>1</u>	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し 深等と連携し 記授業時数 うち企業等 うち企業等	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授ま 業時数 - 必修の実験・	業時数 ・実習・実技 D授業時数	無評価系示し	吉果を掲載した	1, 700 <u>1</u> 510 <u>1</u> 60 <u>1</u> 120 <u>1</u>	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し 深等と連携し 記授業時数 うち企業等 うち企業等	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授ま 業時数 必修の実験・ 必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数	無評価系示し	吉果を掲載した	1, 700 <u>1</u> 510 <u>1</u> 60 <u>1</u> 120 <u>1</u>	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した と関係した	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うち血 立数による算定)	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し 深等と連携し 記授業時数 うち企業等 うち企業等	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した 等と連携した	受審年月: 習・実技の授ま 業時数 必修の実験・ 必修の演習の	業時数 ・実習・実技 D授業時数	無評価系示し	吉果を掲載した	1, 700 J 510 J 60 J 120 J 0 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL と署等の実施洗した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うち血 立数による算定)	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し 接等と連携し 記授業時数 うち企業 素等と連携	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授業 等と連携した したインター	受審年月: 『・実技の授: 業時数 こ必修の実験・	業時数 ・実習・実技 D授業時数 授業時数)	無評価系示し	吉果を掲載した	1,700 J 510 J 60 J 120 J 0 J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第 :、例えば以下について 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うち血 な数による算定) 総単位数 うち企ま	三者評価: 任意記載 enmon/scho 総等と連携し 影探業時数 うち企業等 うち企業等と連携	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授事 等と連携した したインター	受審年月: 『・実技の授! 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの打	業時数 ・実習・実技 D授業時数 授業時数)	無評価系示し	吉果を掲載した	1,700 J 510 J 600 J 120 J 0 J - J	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うち血 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し 等と連携し 記授業時数 うち企業等 うち企業等と連携し 業等と連携し 等と連携し	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授事 等と連携した したインター	受審年月: 『・実技の授! 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの打	業時数 ・実習・実技 D授業時数 授業時数)	無評価系示し	吉果を掲載した	1,700 g 510 g 60 g 120 g 0 g - g - g	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うち血 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し 等と連携し ラち企業等 うち企業等と連携し 業等と連携し ま等と連携し ま等と連携し	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授類 等と連携した したインター た実験・実習 た演習の単位	受審年月: 『・実技の授! 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの打	業時数 ・実習・実技 D授業時数 受業時数)	無評価系ポープ	吉果を掲載した	1,700 J 510 J 60 J 120 J 0 J - J - J - J	単位時間 単単 単単 単単位時間 単単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必ず (うち血 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 enmon/scho 総等と連携し 接案時数 うち企業等 うち企業等と連携し 総等と連携し は等と連携し は等と連携し は等と連携し は等と連携し は等と連携し は等と連携し は等と連携し は等と連携し は等と連携し は等と連携し は等と連携し がある。 はずる。 はずる。 はずる。 はずる。 はずる。 はずる。 はずる。 はず	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授事 等と連携した したインター た実験・実習 た演習の単位	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ・ンシップの! 『・実技の単位 立数	業時数 ・実習・実技 - 実習・実技 - 授業時数 - 授業時数 - 対数	無評価系ポープ	吉果を掲載した	1,700 J 510 J 600 J 120 J 0 J - j - j - j	単位時間 単単単単単単単単単単単単単位 位 位位時間 間 単単位 位 時間 間 単単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac,jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必有 (うちむ 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 enmon/scho sinmon/scho sinmon/	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授乳 等と連携した になインター た実験・実習 た演習の単位 になインター を実験・実習 に演習の単位 等と連携した に変形を連携した に変形を連携した に変形を連携した に変形を連携した	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! 『・実技の単行 立数	業時数 ・実習・実技 ク授業時数 ・受業時数 ・受業・・受験を ・変変を ・変変を ・変変を ・変変を ・変変を ・変変を ・変変を ・変	無評価系ポープ	吉果を掲載した	1,700 J 510 J 600 J 120 J 0 J - J - J - J - J - J	単位時間 単単単単単単位時間 間 単単位 位時間 間 単単位 世位時間 間 単単位 世位 単単位 世位 単単位 世位 単単位 世位 単位 世位 単位 世位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と署等の実施洗した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac,jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必有 (うちむ 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 enmon/scho sinmon/scho sinmon/	ol/kobe/ た実験・実習 た演習の授乳 等と連携した したインター た実験・実習 た演習の単位 等と連携した で等と連携した で等と連携した で等と連携した	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ・ンシップの! 『・実技の単位 立数	業時数 ・実習・実技 ク授業時数 ・受業時数 ・受業・・受験を ・変変を ・変変を ・変変を ・変変を ・変変を ・変変を ・変変を ・変	無評価系ポープ	吉果を掲載した	1,700 J 510 J 600 J 120 J 0 J - J - J - J - J - J	単位時間 単単単単単単単単単単単単単位 位 位位時間 間 単単位 位 時間 間 単単位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位 世位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac,jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企ま うち必有 (うちむ 数による算定) 総単位数 うち企ま うち企ま	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し 等と連携し うち企業等 うち企業等 と連携し 単位数 うち企業業等と連携し うち企業業等と連携し	ol/kobe/ た実験・実習 等と連携した た実験・実習 た次習の だ実験・実習 た次習の単位 を連携した た実験・実習 た次習の単位 になインター	受審年月: 『・実技の授! 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの打 な数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・	業時数 ・実習・実技 が授業時数 で実習・実技 で変数 ・実習・実技 の単位数 の単位数 ・実	無評価系ポープ	吉果を掲載した	1,700 J 510 J 600 J 120 J 0 J - J - J - J - J - J	単位時間 単単単単単単位時間 間 単単位 位時間 間 単単位 世位時間 間 単単位 世位 単単位 世位 単単位 世位 単単位 世位 単位 世位 単位 世位	
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第注: 例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac.jp/se	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し うち企業等と連携し うち企業等 等と連携し うち企業等 等と連携し うち企業等 手と連携し うち企業等 手と連携し	ol/kobe/ た実験・実習 等と連携した 等と連携した したインター た実験・実習 等と連携した はたインター もであって したインター したインター	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ーンシップの! 』・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! で 交等にお専門課	業時数 ・実習・実技 - 実理・実技 - 実理・実技 - 実理・数 - 実理・実技 - 単位数 - (重統等	無評価系ポープ	吉果を掲載したムページURL	1,700 J 510 J 600 J 120 J 0 J - J - J - J - J - J	単単位時間 間単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位時時間間 単位位時時間間 単位位 位位位位位位位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と署等の実施洗した況(A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac.jp/se な時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必が (うち血 放数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企動 (うち血 (うち血	三者評価: 任意記載 enmon/scho 等と連携し うち企業等と連携し うち企業等 等と連携し うち企業等 等と連携し うち企業等 手と連携し うち企業等 手と連携し	ol/kobe/ た実験・実習 等と連携した 等と連携した したインター た実験・実習 等と連携した はたインター もであって したインター したインター	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ーンシップの! 』・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! で 交等にお専門課	業時数 ・実習・実技 - 実理・実技 - 実理・実技 - 実理・数 - 実理・実技 - 単位数 - (重統等	無評価系ポープの授業時数の単位数	吉果を掲載したムページURL	1,700 g 510 g 60 g 120 g 0 g - g - g - g - g - g - g - g - g	単単位時間 間単位時間間 単位時間間 単位時間間 単位時時間間 単位位時時間間 単位位 位位位位位位位位	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 https://w	評価機関等から第字: 例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac.jp/se	三者評価: 日意記載 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	ol/kobe/ た実験・実習 等と連携した 等と連携した したインター た実験・実習 等と連携した はたインター もであって したインター したインター	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ーンシップの! 』・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! で 交等にお専門課	業時数 ・実習・実技 か授業時数) ・変単位数 ・変単位数 ・変形を学れ	無 評価系 ホー」 の授業時数 の単位数	吉果を掲載した ムページURL	1,700 1 510 1 60 1 120 1 0 1 - 1 - 1 - 1 - 1	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等をと連携した ととである。 とまである。 とは、 とは、 とは、 とは、 とには、 とには、 とには、 とには、 とには	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うちが があります。 では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	三者評価: 日本記載 Enmon/scho を等と連携し、 ラち企連携し、 ラち企連携し、 ラち企連携し、 ラち企連携し、 ラち企連携し、 ラち企連携し、 ラち企連携し、 ラち企企業等 単位数 ラち企企業等 等と連携し、 ラち企企業等 等と連携し、 ラち企企業等 をと連携し、 ラち企企業等 をと連携し、 ラち企企業等 をと連携し、 ラち企企業等 をと連携し、 ラち企企業等 をと連携し、 ラち企企業等 をと連携し、 ラち企企業等 をと連携し、 ラち企企業等 をと連携し、 ラち企企業等 をとと連携し、 ラち企企業等 をとと連携し、 ラち企企業等 をとと連携を ラち企企業等 をとと連携を ラち企企業等 をとと連携を ラち企企業等 をとと連携を ラちな企業等 ををときを を修り、 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 ・ でを、 できたた。 ・ できた。 ・ できたた。 できたた。	ol/kobe/ た実験・実習 等と連携した 等と連携した したインター た実験・実習 等と連携した はたインター もであって したインター したインター	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ーンシップの! 』・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! で 交等にお専門課	業時数 ・実習・実技 力授業時数 ・実理 ・実技 の受業時数 ・実性 の単位数 ・実体 ・実体 ・実体 ・実体 ・実体 ・実体 ・実体 ・実	無 評価系 ホープ の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第	吉果を掲載した ムページURL 1号)	1,700 g 510 g 60 g 120 g 0 g - g - g - g - g - g - g - g - g - g -	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等等と連携施した況か に記入)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第二、例えば以下について 評価間体:	三者評価: 任意記載 Phonomon/scho Separation (April 1988) 「中華 と連携しいます。 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連進機しいます。」 「中華 と 連携 による ままままます。」 「中華 と 連携 による ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ol/kobe/ た実験・実習の授訓 等と連携した た実験で選の単位 た実験である。 た実験である。 になインター た実験である。 になインター た実験である。 になんである。 と連携した はたインター たま連携した を連携した になる。 になる。 と連携した になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ーンシップの! 』・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! で 交等にお専門課	業時数 ・実習・実技 か受業時数 ・実理の数 ・実性位数 ・実性位数 ・実性位数 ・実体 ・実体 ・実体 ・実体 ・実体 ・事体 ・学体	無 評価系 ボーン の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	信果を掲載した ムページURL 1号) 2号) 3号)	1,700 g 510 g 60 g 60 g 120 g 0 g - g - g - g - g - g - g - g - g - g -	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等の実いずに記入) とこれに記入)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第二、例えば以下について 評価団体: www.o-hara.ac.jp/se 立時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必ず (うちが があります。 では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	三者評価: 任意記載 Phonomon/scho Separation (April 1988) 「中華 と連携しいます。 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連進機しいます。」 「中華 と 連携 による ままままます。」 「中華 と 連携 による ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ol/kobe/ た実験・実習の授訓 等と連携した た実験で選の単位 た実験である。 た実験である。 になインター た実験である。 になインター た実験である。 になんである。 と連携した はたインター たま連携した を連携した になる。 になる。 と連携した になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ーンシップの! 』・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! で 交等にお専門課	業時数 ・実習・実技 か受業時数 ・実理の数 ・実性位数 ・実性位数 ・実性位数 ・実体 ・実体 ・実体 ・実体 ・実体 ・事体 ・学体	無 評価系 ホープ の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第	信果を掲載した ムページURL 1号) 2号) 3号)	1,700 g 510 g 60 g 120 g 0 g - g - g - g - g - g - g - g - g - g -	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと実施状した に記入) に記入)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第二、例えば以下について 評価間体:	三者評価: 任意記載 Phonomon/scho Separation (April 1988) 「中華 と連携しいます。 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連進機しいます。」 「中華 と 連携 による ままままます。」 「中華 と 連携 による ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ol/kobe/ た実験・実習の授訓 等と連携した た実験で選の単位 た実験である。 た実験である。 になインター た実験である。 になインター た実験である。 になんである。 と連携した はたインター たま連携した を連携した になる。 になる。 と連携した になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ーンシップの! 』・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! で 交等にお専門課	業時数 ・実習・実技 ・実理・等数 ・支援・時数 ・実性 ・変性 ・変性 ・変性 ・変性 ・変性 ・変性 ・変性 ・変性 ・変形	無 評価系 ボーン の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	吉果を掲載した ムページURL 1号) 2号) 3号)	1,700 g 510 g 60 g 60 g 120 g 0 g - g - g - g - g - g - g - g - g - g -	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと実施がよりに に記入) と教員の属性(で記)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について、評価では、例えば以下について、評価団体: ww.o-hara.ac.jp/se な時間による算定) 総授業時数 うち企ま うちから (うちが) なります。 (うなが) なります。 (なが) なります。 (なが) なりまする。	三者評価: 任意記載 Phonomon/scho Separation (April 1988) 「中華 と連携しいます。 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連進機しいます。」 「中華 と 連携 による ままままます。」 「中華 と 連携 による ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ol/kobe/ た実験・実習の授訓 等と連携した た実験で選の単位 た実験である。 た実験である。 になインター た実験である。 になインター た実験である。 になんである。 と連携した はたインター たま連携した を連携した になる。 になる。 と連携した になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ーンシップの! 』・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! で 交等にお専門課	業時数 ・実習・実技 ・実理・等数 ・支援・時数 ・変響・数 ・変響・数 ・変性 ・変性 ・変性 ・変形	無 評価係 ボーン の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	吉果を掲載した ムページURL 1号) 2号) 3号)	1,700 g 510 g 60 g 120 g 0 g - g - g - g - g - g - g - g - g - g -	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと実施がよりに に記入) と教員の属性(で記)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について、評価では、例えば以下について、評価団体: www.o-hara.ac.jp/seな、対策による算定) 総授業時数 うち企業 うちかが (うちかが できまり) の数による第一ででは、対策を与うな必ができます。 でもの担当業をなが、できまり、対策を与うなのでは、対策を与うなが、対策を与うないが、対策をものが、対策を与うないが、対策を与うないが、対策を与うないが、対策を与うないが、対策を与うないが、対策を与うないが、対策を与うないが、対しないが、対しないが、対しないが、対しないが、はないが、対しないいないが、はないないが、はないいいいいいが、はないないが、はないないが、はないないいないが、はないないが、はないないないが、はないないが、はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	三者評価: 任意記載 Phonomon/scho Separation (April 1988) 「中華 と連携しいます。 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連携しいます。」 「中華 と連進機しいます。」 「中華 と 連携 による ままままます。」 「中華 と 連携 による ままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ol/kobe/ た実験・実習の授訓 等と連携した た実験で選の単位 た実験である。 た実験である。 になインター た実験である。 になインター た実験である。 になんである。 と連携した はたインター たま連携した を連携した になる。 になる。 と連携した になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の演習の ーンシップの! 』・実技の単位 立数 こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの! で 交等にお専門課	業時数 ・実習・実技 ・実理・等数 ・支援・時数 ・変響・数 ・変響・数 ・変性 ・変性 ・変性 ・変形	無 評価係 ボーン の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	吉果を掲載した ムページURL 1号) 2号) 3号)	1,700 J 510 J 60 J 120 J 0 J - J - J - J - J - J - J - J - J - J -	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単	
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと実施状した に記入) に記入)	■民間の ※有の場合 https://w (A:単位	評価機関等から第二、例えば以下について 評価 機関等から第二、例えば以下について 評価 団体:	三者評価: 三任意記載 Inmon/scho Separate Sep	ol/kobe/ た実験・実習 等と連携した を実践・実習 したインター た実験・実習 したインター た実験・実習 したインター はである。 である間と	受審年月: 『・実技の授! 『・実技の授! 『・実技の要験・ こ必修の演習の ーンシップの! 』・実技の単 位立数 こ必修の演習の ーンシップの! な姿等に該明で た。	業時数 ・実習・実技 - 実理・実技 - 実理・実技 - 要習・実技 - 要要 - 要を - 要を - 要を - である -	無 評価係 ボーン の授業時数 の単位数 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第 交設置基準第41条第1項第	吉果を掲載した ムページURL 1号) 2号) 3号) 4号)	1,700 J 510 J 60 J 120 J 0 J - J - J - J - J - J - J - J - J - J -		

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程 の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①卒業生の主な就業先である医療機関の医事課(医療事務職、クラーク職)や看護課(看護助手職)、また、診療報酬改定に造詣の深い企業や出版社と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②医療事務分野における学修の中心となる診療報酬請求事務知識、臨床医学知識(体の仕組みや働き、病気の症状、体力の概念やリハビリテーション理論等)、患者応対スキル、医事コンピュータスキル、高齢者応対スキル等の教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で 評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて
- 教務課の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である学校長・教務課長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
内橋 照夫	全国国立病院事務部長協議会	令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	1
久保田 知志	医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院	令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年)	3
佐藤 顕	学校法人大原学園 大原簿記専門学校神戸校	_	_
恩知 孝康	学校法人大原学園 大原簿記専門学校神戸校	_	_
淀 正志	学校法人大原学園 大原簿記専門学校神戸校	_	_
梅本 真希	学校法人大原学園 大原簿記専門学校神戸校	_	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)
- 年2回 (8月、11月)
- (開催日時(実績))
- 第1回 令和5年8月1日 16:30~17:30
- 第2回 令和5年11月16日 16:30~17:30
- 第1回 令和6年8月1日 16:30~17:30

|(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

医師事務作業補助に関する業務理解と学生に受験させる検定試験を職員が受験・研究し、カリキュラムベースを作成した。 結果として、職員が研究・受験を通じて指導ポイントが明確になり、カリキュラム作成に役立った。

2年次カリキュラムについては、実務に即した内容および修正を行った。結果として、「知識を知っている」状態から「知識を理解し行動できる」状態へと昇華できた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①中規模から大規模の医療機関で、医事課職員の指導の下、実習を実施する。また、病院の基本的機能の理解、病院内における医事課の役割、患者応対方法の実践を学び、身に付けられるよう、内容等の組み立てを調整する。
- ②医療機関等との連携による実習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革、医療 従事者としての意識改革を実現する。
- ③医療機関担当者と実習部署、実習内容を検討し、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを 医療機関等の実務の視点から評価を仰ぐ。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

医療機関等に病院実習受け入れ依頼を行い、病院実習受け入れ承諾書を頂戴するとともに、打合せを行い、下記の4点について連携している。

- ① 医事課担当者と打ち合わせを行い、実習日程、実習内容、到達目標、評価指標等を調整・決定
- ② 医療機関内の各施設、各部署の見学、実習の実施
- ③ 学生の実習状況の確認及び医事課担当者との情報交換のため、担当教員による訪問
- ④ 実習修了時の学生の学修成果の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
病院実習 I	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	現場での実習を通して、医療事務 員として必要な基礎知識を学ぶ	三聖病院、あさひ病院、高砂西部 病院、神明病院、あさぎり病院等
病院実習Ⅱ	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	現場での実習を通して、医療事務の業務内容を理解することを目的とする。 事務員としての業務、患者との関わりを実践を通して身に付ける。	三聖病院、あさひ病院、高砂西部 病院、神明病院、あさぎり病院等
病院実習Ⅲ	3.【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	現場での実習を通して、医療事務の業務内容を理解することを目的とする。 事務員としての業務、患者との関わりを実践を通して身に付ける。	神戸平成病院、あさぎり病院、吉 田病院、大西脳神経外科病院、三 聖病院、北須磨病院等
病院実習IV	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを 除く。)	現場での実習を通して、医療事務の業務内容を理解することを目的とする。 事務員としての業務、患者との関わりを実践を通して身に付ける。	神戸平成病院、あさぎり病院、吉 田病院、大西脳神経外科病院、三 聖病院、北須磨病院等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

|※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。

「大原学園 教職員研修規定」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意志により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は以下のとおり。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される付帯教育講座を利用しての自己啓発
- ④兵庫県(関連団体等含む)主催の実践的な知識・指導スキル研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医療事務学科教員_知識力向上勉強会 連携企業等: 蓮田病院

期間: 令和7年2月18日(火) 対象: 医療ビジネス学科教員

内容 ①2024年度の診療報酬改定項目②改定の医療機関に与える影響③改定を受け実際に行った現場の対応

4 医療機関が求める医療系事務職の人材像

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 青年期の自殺予防 連携企業等: 兵庫県県民生活部くらし安全課

期間: 令和6年10月30(水) 対象: 全学科教員

内容 自傷行為や過量服薬などについて詳しい内容や予防策を学ぶ。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 医療事務実務関連研修 連携企業等:調整中

期間: 令和8年3月 対象: 医療ビジネス学科教員

内容 医療事務員に必要な実務知識、診療報酬改定について学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 生徒の困りごとに気づき、適切に対応するために 連携企業等:神戸市

期間: 令和7年2月17日(月) 対象: 全学科教員

内容 思春期の生徒の特長実態、不登校や自傷行為、オーバードーズへの理解と対応

研修名: 神戸市自殺総合対策フォーラム 連携企業等:神戸市精神保健福祉センター

期間: 令和7年3月8日(土) 対象: 全学科教員

内容 若者を支援する講師の方の現状理解と事情ある生徒の支え方の共有

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、教育を実現するために必要な環境が整っているかにつき、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。委員(外部の役職者)より評価いただき、結果はHPで公表する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

|(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニースに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レヘルは明確にされているか。 ③加リキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法等が実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。
(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6)教育環境	①施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われてているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行われているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況

教育業界では生徒やその家族との接点が多くなることから、その時代にあった取り組みや知識を付けることが求められており、教員の資質向上が重要となる。大原学園では、高い就職率・資格合格率・公務員合格率を引き続き維持していただくともに、生徒の専門知識を始めとして、様々な教育の機会を提供することで、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいきたい。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
石井 祐介		令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員
前原 啓二		令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委 員
上野 雄一		令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年)	企業等委 員
原口 哲也	1年服の美川 二官位	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員
黒木 輝幸		令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員
久保田 知志		令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委 員
釜田 亮佑		令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①概要 ②教育方針 ③沿革
(2)各学科等の教育	①入学定員 ②受入方針 ③カリキュラム ④進級、卒業要件等 ⑤専門士・高度専門士の称号付与 ⑥目標とする国家試験、検定試験等 ⑦主たる国家試験、検定試験等の合格実績 ⑧卒業生の進路
(3)教職員	①教職員数 ②教職員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②課外活動
(6)学生の生活支援	①完全担任制 ②就職教育
(7)学生納付金·修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等
(8)学校の財務	学園の財務状況公開
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	-
(11)その他 ((10)及び(11)については任意記載。	<u> -</u>

))

(3)情報提供方法 (ホームページ・広報誌等の刊行物 ・ その他(URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ 公表時期: 令和7年10月6日

授業科目等の概要

	商業実務専門課程 医療ビジネス学科															
		分選択		 	授業科目概要	配当年次	授業	単位		演演	大法実験・実		<u>所</u>	事		企業等と
	修	必	選	汉朱行石石	1又本行口纵女	√・学期	時数		義	習	子習・実技	内	外	任	任	の連携
1	0			医療請求事務 基礎 I	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ	1 前	60	2	0			0		0		
2	0			医療請求事務 基礎 Ⅱ	医療請求事務基礎 I で学んだ知識を踏まえ、学科知識、レセプト知識を学ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
3	0			医療請求事務 基礎演習	診療録(カルテ)から明細書(外来レセプト)を作成するための総合演習を行う	1 前	60	2		0		0		0		
4	0			医療請求事務 応用 I	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識を学ぶ	1 前	60	2	0			0		0		
5	0			医療請求事務 応用Ⅱ	医療請求事務応用 I 学んだ知識を踏まえ、 学科知識、レセプト知識を学ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
6	0			医療請求事務応用演習	診療録(カルテ)から明細書(入院レセプト)を作成するための総合演習を行う	1 通	30	1		0		0		0		
7	0				医療秘書の職務と役割を理解するための基 礎的な知識を学ぶ	1 前	60	2	0			0		0		
8	0			医療秘書実務 基礎 Ⅱ	関連法規と基礎医学を理解するための基礎 的な知識を学ぶ	1 前	30	1	0			0		0		
9	0			医療秘書実務 基礎演習	医療秘書実務基礎Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を踏まえ、様々な場面での知識を学ぶ	1 通	30	1		0		0		0		
10	0			医療秘書実務 応用 I	医療秘書の職務と役割を理解するための応 用的な知識を学ぶ	1 後	30	1	0			0		0		
11	0			医療秘書実務 応用Ⅱ	基礎医学を理解するための応用的な知識を 学ぶ	1 後	30	1	0			0		0		
12	0			医療秘書実務 応用演習	医療秘書実務応用Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を踏まえ、様々な場面での知識を学ぶ	1 後	30	1		0		0		0		
13	0			キャリアデザ イン I	面接試験において求められるビジネスマ ナーの基礎を学ぶ	1 前	30	1		0		0		0		
14	0			一般教養 I	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ	1 前	30	1	0	Δ		0		0		
15	0			病院実習I	保険医療機関等で医療事務員として必要な 基礎知識を学ぶ	1 後	60	2			0		0	0		0
16	0			病院実習Ⅱ	保険医療機関等で医療事務員として必要な 患者応対を学ぶ	1 後	60	2			0		0	0		0

17	0	医療秘書実践 I	受付での患者応対マナーや対応方法 (挨拶 〜初診受付)を身に付ける	1 前	30	1		0		0		0	
18	0	医療秘書実践 Ⅱ	受付での患者応対マナーや対応方法 (会計、再診受付まで)を身に付ける	1 通	60	2		0		0		0	
19	0	医療秘書実践 Ⅲ	受付での患者応対マナーや対応方法 (様々なタイプの患者応対) を身に付ける	1 後	30	1		0		0		0	
20	0	診療報酬基礎	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ	1 後	30	1		0		0		0	
21	0	診療報酬応用 I	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識を学ぶ	1 後	60	2		0		0		0	
22	0	診療報酬応用 Ⅱ	診療報酬応用 I で学んだ知識を踏まえ、診療録(カルテ)から明細書(レセプト)を作成するための応用知識を学ぶ	1 後	60	2		0		0		0	
23	0	診療報酬演習	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な演習を行う	1 後	60	2		0		0		0	
24	0	医療キャリア デザイン I	医療事務員として仕事をするための心構 え・準備内容を理解する	1 通	30	1	0	4		0		0	
25	0	医療キャリア デザイン II	自己分析を行い、自らの長所、短所を明確 にし、表現する	1 後	30	1	0	4		0		0	
26	0	医療キャリア デザインⅢ	医療事務員としての自己表現力を身に付ける	1 後	60	2	0	Δ		0		0	
27	0	患者接遇論概 論	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付け る	1 後	30	1		0		0		0	
28	0	病院研究	病院就職に必要な知識やスキルを身に付け る	1 後	30	1	0			0		0	
29	0	ビジネス教養 I	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養 う	1	30	1		0		0		0	
30	0	トレーニング 実習	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う	2 後	30	1			0		0	0	
31	0	医薬品知識	医薬品の取り扱いに関する基礎的な知識を 学ぶ	1 後	30	1	0			0		0	
32	0	調剤報酬請求 事務	処方箋から明細書(レセプト)を作成する ための基礎的な知識を学ぶ	1 後	60	2	0			0		0	
33	0		処方箋から明細書(レセプト)を作成する ための演習を行う	1 後	30	1		0		0		0	
34	0	時事	現代社会における主要な時事の基本用語を 理解し、自分の考えや意見を持つための学 習	1 後	30	1	0			0		0	
35	0	Power Point 基礎	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作 を理解する	1 通	30	1			0	0		0	

36	0		病院実習Ⅲ	大学病院や総合病院等で医療事務員として 必要な行動を学ぶ	2 前	60	2			0		0	0	0
37	0		病院実習Ⅳ	大学病院や総合病院で医療事務員として必 要な行動、態度、技術を学ぶ	· 2 前	60	2			0		0	0	0
38	0		実践数的 I 数的推理	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	· 2 前	50	2	0			0		0	
39	0		実践数的Ⅱ 判断推理	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、文章問題を解答する	· 2 前	40	2	0			0		0	
40	0		実践数的 空間把握	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、 問題を解答する	2 前	20	1	0			0		0	
41	0		実践社会科学 I 政治	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識 を学ぶ	2 前	30	1	0			0		0	
42	0		基礎社会科学 Ⅱ 経済・社会	金融政策・財政政策・外国為替など、経済 の基礎知識、労働問題・環境問題など、社 会の基礎知識を学ぶ		40	2	0			0		0	
43	0		基礎数的 I 数的推理	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	· 2 前	50	2	0			0		0	
44		0	ビジネスマ ナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する	2通	60	2	0	Δ		0		0	
45		0	パソコン実習 I	Word、Excelを操作するための基礎的な知識 を身に付ける実習	2 通	30	1			0	0		0	
46		0	キャリアデザ インⅡ	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	· 2 前	30	1		0		0		0	
47		0	一般教養Ⅱ	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ	2 前	30	1		0		0		0	
48		0	秘書実務	秘書的業務についての基礎的な知識と技能 を学ぶ	2 通	60	2	0	Δ		0		0	
49		0	秘書総合	秘書的業務についての知識と技能を身に付けるための応用的な演習を行う	2 通	60	2		0		0		0	
50		0	簿記入門 I	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	2 前	30	1	0			0		0	
51		0	3級商業簿記 基礎	株式会社における複式簿記の基本原理、簿 記の基本原理を学ぶ	2 前	90	3	0			0		0	
52		0	3級簿記総合	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題 演習を通じて学ぶ	2 通	##	4		0		0		0	
53		0	2級商業簿記 基礎 I	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会 社会計の基礎を学ぶ	2 前	90	3	0			0		0	
54		0	2級工業簿記 基礎 I	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	2 前	60	2	0			0		0	

		_											
55	0	2級簿記総合 I	商企業および工企業の会計処理を問題演習 を通じて学び、本支店会計、連結会計、原 価計算の基礎も学ぶ	2 前	##	4		0		0	0		
56	0	コミュニケー ション実践	グループワークの形式、役割、手法につい て学ぶ	2 後	30	1	0	Δ		0	0		
57	0	Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解 する	2 通	30	1			0	0	0		
58	0	パソコン実習 Ⅱ	Excelの資料作成、作業スピードを向上する テクニックを習得する	2 通	30	1			0	0	0		
59	0	パソコン実習 Ⅲ	応用的な機能を活用した文書作成や複雑な データ集計を行うスキル習得のための実習	2 通	30	1			0	0	0		
60	0	給与計算実務	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解 し、特に年末調整事務を行うために必要な 知識を習得する講義	2 後	30	1	0	Δ		0	0		
61	0	英会話入門	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	2 通	30	1	0	\triangleright		0		0	0
62	0	卒業前特別講 座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	2 後	30	1	0			0		0	0
63	0	接遇論マナー実践	患者接遇に必要な知識・スキルを身に着け る	2 前	60	2		0		0	0		
64	0	ビジネス教養 Ⅱ	企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う	2 通	30	1		0		0	0		
65	0	医療ビジネス マナー I	基本的なビジネススキルの向上	2 通	30	1		0		0	0		
66	0	請求事務実践 I	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための基礎的な知識を学ぶ	2 通	30	1	0			0	0		
67	0	キャリアデザ インⅢ	社会環境を理解し、課題をクリアする力を 身につける為の学習	2 通	30	1	0	Δ		0	0		
68	0	サービス知識	接遇マナーやサービス提供者としての応対 力を身に付ける	2 通	30	1	0	Δ		0	0		
69	0	医療秘書実践 IV	医事課や総合受付内等の内部業務知識やマ ナーを身に付ける	2 前	60	2		0		0	0		
70	0	医療秘書実践 V	受付での患者応対マナーや対応方法 (特殊 保険や問い合わせ) を身に付ける	2 通	60	2		0		0	0		
71	0	患者看護論	患者の理解と、看護に関する知識を深める	2 通	30	1	0			0	0		
72	0	小児保健	小児に関する基礎知識習得と小児対応につ いて学ぶ	2 通	30	1	0			0	0		
73	0	医療ビジネス マナー II	ロールプレイを行いながら実践的な知識を 身に付ける	2 後	30	1		0		0	0		

			<u> </u>										
74	0	請求事務実践 Ⅱ	診療録(カルテ)から明細書(レセプト) を作成するための応用的な知識の向上	2通	30	1	0			0		0	
75	0	社会保険基礎論	保険の基礎的な知識を学ぶ	2 後	30	1	0			0		0	
76	0	医学知識	病院受付でも患者対応できるように医学的 な基礎的知識を学ぶ	2 後	30	1	0			0		0	
77	0		医療事務員としての自己分析力を身に付け、表現する	2 通	30	1	0			0		0	
78	0	病院実習V	保険医療機関内の組織、それぞれの役割、 業務内容を学ぶ	2 後	60	2			0		0	0	0
79	0	病院実習Ⅵ	保険医療機関内での他職種との連携業務を 学ぶ	2 後	60	2			0		0	0	0
80	0	病院実習Ⅷ	一医療人になるために基礎的な患者応対か ら事務的な仕事までを学ぶ	2 後	30	1			0		0	0	0
81	0	病院実習哑	医療事務員としての応用的な知識も含め、 全ての業務を学ぶ	2 後	60	2			0		0	0	0
82	0	医師事務作業 補助 I	医療保険制度及び医療関連法規について学ぶ	2 前	30	1	0			0		0	
83	0	医師事務作業 補助Ⅱ	医学・薬学に関連する知識及び医師事務作 業補助業務や各種医療文書等について学ぶ	2 前	60	2	0			0		0	
84	0	医師事務作業補助演習	診断書や各種証明書、請求書を作成するための基礎を身に付ける	2 前	30	1		0		0		0	
85	0	実践答案練習 I	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 前	60	2		0		0		0	
86	0	公務員時事対 策	自然科学から国際問題まで幅広いジャンル の社会時事を学ぶ	2 前	30	1	0			0		0	
87	0	基礎言語 I 文理・国語	文法などの国語分野の基礎的な知識と文章 読解力の習得	2 前	20	1	0			0		0	
88	0	基礎言語 Ⅱ 英語	文法や熟語など英語分野の基礎的な知識の 習得	2 前	30	1	0			0		0	
89	0	実践数的総合	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	2 前	20	1		0		0		0	
90	0	実践人文科学 I 地理	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験 レベルの実践的知識を学ぶ	2 前	20	1	0			0		0	
91	0	実践人文科学 Ⅱ 日本史	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	2 前	20	1	0			0		0	
92	0	実践人文科学 Ⅲ 世界史	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心 とした世界の歴史を学ぶ	2 前	20	1	0			0		0	

93	C	基礎的人文科 学総合	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
94	С	基礎数学 I	基本的な数学計算の能力を身に着け、文章 問題を解答する	· 2 前	20	1	0		0	0	
95	С	実践人文科学 II 日本史	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
96	C	実践人文科学 □ Ⅲ 世界史	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心 とした世界の歴史を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
97	С	公務員適性検 査演習 I	公務員試験で重視される事務適性試験の得 点力を強化する	2 前	60	2		0	0	0	
98	С	公務員適性検 査演習 Ⅱ	公務員試験で重視される事務適性試験の得 点力を強化する	2 前	30	1		0	0	0	
99	C	公務員教養論 作文対策	公務員初級試験を見据えての文章作成スキ ルの習得	2 前	30	1		0	0	0	
100	С	基礎自然科学総合	物理・化学の基礎知識を習得する	2 前	20	1	0		0	0	
101	C	実践数的Ⅳ 数的総合	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答 する	2 通	40	2		0	0	0	
102	C	実践自然科学 I 生物・地学	生体から自然環境までの生物分野、地球の 内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
103	C		物理分野は基本的な公式を覚え、運動・ 熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は 物質の仕組みや物質の変化を学ぶ	2 前	20	1	0		0	0	
104	C	実践答案練習	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 前	90	3		0	0	0	
105	C	総合答案練習 I	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 前	##	5		0	0	0	
106	C	直前答案練習	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 前	##	4		0	0	0	
107	C	直前答案練習	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的 な知識を学ぶ	2 後	30	1		0	0	0	
108	C	財政学	財政学の基礎知識を学ぶ	2 通	20	1	0		0	0	
109	C	商法	商法の基礎知識を学ぶ	2 後	15	1	0		0	0	
110	C	公務員時事研究	就職先に関連する社会的ニュースを考察す る	2 通	30	2		0	0	0	
111	C)一般教養I	一般教養として、社会で求められる漢字の 知識を身につける	2 前	30	1		0	0	0	

112	0	一般教養Ⅱ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語な ど国語分野に関する知識まで身につける	2 後	30	1		0		0		0	
113	0	ビジネス教養 I	電卓の学習を通じ計算技能を養う、および 一般教養に関する問題演習	2 前	30	1		0		0		0	
114	0	ビジネス教養 II	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養 う	2 通	30	1		0		0		0	
115	0	キャリアデザ イン I	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行 う	2 通	30	1		0		0		0	
116	0	キャリアデザ インⅡ	面接試験に向けての準備作業法を修得し、 春試験2試験種に向けた面接指導を行う	2 前	30	1		0		0		0	
117	0	公務員キャリ アデザイン基 礎	効果測定を通して面接の基礎を習得し、4試 験種に向けた面接指導を行う	2 前	90	3		0		0		0	
118	0	公務員キャリ アデザイン 公務員春試験	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的 な面接の練習	2 前	30	1		0		0		0	
119	0	公務員キャリ アデザイン 公務員秋試験	公務員秋試験の二次試験を踏まえた実践的 な面接の練習	2 後	##	4		0		0		0	
120	0	就職活動準備	公務員及び民間就職の活動前に基礎的なビ ジネスマナーや所作を学ぶ	2 後	90	3		0		0		0	
121	0	トレーニング 実習	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う	2 後	30	1			0		0	0	
122	0	職業実務I	公官庁から講師をお招きし、その講義から 得た知識を基に官公庁・法律研究を行う	2 通	15	1		0		0		0	
123	0	職業実務Ⅱ	実務経験のある講師をお招きし、その講義 から得た知識を基に官庁企業研究を行う	2 通	15	1		0		0	0	0	0
124	0	職業実務Ⅲ	官公庁から講師をお招きし、その講義から 得た知識を基に官庁企業研究を行う	2 通	15	1		0		0		0	0
125	0	職業実務Ⅳ	官公庁から講師をお招きし、その講義から 得た知識を基に官庁企業研究を行う	2 通	15	1		0		0		0	0
126	0	職業実務V	公官庁等に関する講義 (または演習・実習)を行い、その講義 (演習・実習)から得た知識を基に官庁企業研究を行う	2 通	15	1		0		0		0	0
127	0	公官庁講話	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き 職種への理解を深める	2 通	20	1	0			0		0	
128	0	公務員倫理	実務経験者をお招きし、公務員に関する法 令や服務規程を学ぶ	2 通	15	1		0		0		0	
129	0	公務員ボラン ティア実習 I	ボランティアの基本的な在り方を学び、実 習も踏まえて理解を深める	2 通	30	1			0		0	0	
130	0	公務員ボラン ティア実習Ⅱ	ボランティアの基本的な在り方を学び、実 習も踏まえて理解を深める	2 通	30	1			0		0	0	

131			0	ビジネスマ ナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関する ルールを学習する	2 通	60	2	Δ	0		0	0		
132			0	パソコン実習 I	Excelの資料作成、作業スピードを向上させ るテクニックを習得する	2 通	30	1	Δ	0		0	0		
133			0	法律研究	法律に関する講義を受け、研究および発表 を通じて法律の考え方を学ぶ	2 後	30	1			0	0	0		0
134			0		多様化する公務員試験に対応するための一 般教養力の習得	2 後	30	1		0		0	0		
135			0	行政研究	災害対策に関する知識を学び、研究および プレゼンテーションを通じて防災への理解 を深める		30	1			0	0	0		0
	合計			計	135 科目 5789 単位(単位時間)								1)		

	卒業要件及び履修方法	授業期間等				
卒業要件:	修業年限(2年)以上在学し、1700時間以上の授業を履修かつ、必修 科目を含めた62単位以上を修得した者が卒業を認定される。	1 学年の学期区分	2 期			
履修方法:	必修科目は必ず履修し、選択必修科目は別に定める別表の通り履修する必要がある。 配当年次欄に1・2と記載がある科目の履修学年次は不問とする。	1 学期の授業期間	20 週			

- (留意事項)
 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。